

平成19年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	起業・創業で再チャレンジを目指す若者を支援するための教育プログラム開発とその実践		
法人名	学校法人第一平田学園		
学校名	中国デザイン専門学校		
代表者	理事長 平田 眞一	担当者 連絡先	戸田 陽子 TEL 086-225-0791

1. 事業の概要

本事業は、早期離職の若者が起業・創業するために不足とされている経営基礎知識・マインド・センスを学ぶための「創業・起業BPC講座テキスト」および、本教材を利用して学習を円滑に進めていくための支援ツールとして、教員用の指導書も同時に開発した。
また、本プロジェクトにて開発された教材を利用して、「ビジネスプロデュース実証講座」を開催し、40名の学生に対して講座を実践した。
さらに、「ビジネスプロデュースコンペティション」を開催し、アイデアおよびプレゼンテーション能力を競い合うことで知識および能力の充実を図った。

2. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

本事業は、創業や起業を目指す離職者を対象として計画したが、残念ながらその目的は達成されなかった。
しかしながら、今回のビジネスプロデュース実証講座を実施することにより、学生自身が実社会で働く起業家からビジネスを学ぶことができ、自己のビジネス意欲を奮起させることが出来た。

②事業により得られた成果

「ビジネスプロデュースコンペティション」を行うことにより、参加した学生から「自分達が漠然と求めているものを具体的に形にできる機会だったので、とても有意義な時間だった。」「起業家・会社経営者などの前で、プレゼンテーションをする機会を与えていただき、自分へのステップアップとなった。」「自分の思いを相手に伝えることによって、その思いが実現していくことの楽しさを学ぶことができた。」などの意見を得ることができた。

③今後の活用

本事業で開発した、「創業・起業BPC講座テキスト」および「創業・起業BPC講座指導書」を協力校に600部配布し、また、商業実務・ビジネス系の学校法人立専門学校816校へ配布したことにより、本校の生徒だけではなく他校でも活用されるよう期待する。
「ビジネスプロデュースコンペティション」は今後の開催の要望が寄せられており、学習目標を明確にする役割と自分には思いつかない他者の考え方に触れるなどの見地からも意味性の強い大会であり、さらなる発展を期待したい。

④次年度以降における課題・展開

今年度の事業を通して、以下の3点についての課題があることがわかった。改善策を講じ、次年度以降も若者の再チャレンジならびに創業・起業を目指す者を支援してゆくこととしたい。

①本事業の対象とした、早期離職した若者へ向けて創業・起業へのビジネス意欲を持たせるための、「創業・起業BPC講座」の募集を、12月から地域の公共施設や本校での掲示などで何度か行ったが、離職者の受講者を得ることが出来なかった。このことから、講座が行われる場所・日程・曜日について、対象者の通いやすさなどを考慮し改善を図ることとしたい。

②教育教材については紙媒体だけでなくe-learning化し、時間や環境の制約に左右されることなく誰でも学習に参加できるようにすることで、実施の利便性を向上させることによって、より多くの若者に学ぶ機会を与えることを検討する。

③ハローワーク等に訪れる早期退職した若者の中には、再就職願望は強いが自ら創業・起業を目指す者は少ない傾向にあるため、次年度以降は早期退職した若者だけでなく、ニート・フリーター等対象とすることも検討したい。

本事業で開発した教材、指導書を用い、また、上記検討課題を改善し、次年度についても創業・起業を目指すための講座の開催を計画したい。

3. 事業の実施に関する項目

①教材の開発

「創業・起業BPC講座テキスト」

経営に関する知識を身につけるとともに、ビジネスマインドやビジネスセンスを磨くための教材を開発した。また、開発にあたり、特にビジネスアイデアの数値への落とし込みを重点に経営数値について強化し、実現性のある事業計画を立案できる者を育成することを目指した。

「創業・起業BPC講座指導書」

創業・起業を目指すもの特有の創造の具現化や未来への挑戦などが発端となる悩みや不安に対して、適切な対応ができるキャリア指導員を育成するための教材を開発した。

②実証講座

「ビジネスプロデュース実証講座」

実施日：平成20年2月13日および14日

場 所：中国デザイン専門学校

対 象：本校学生40名

講 師：有限会社レボ・リューション 河野上 和廣

内 容：アイデアを出すためのポイント

創業・起業のための留意事項

また、これらのポイントをフレームワークを利用して

グループワーク形式で実施した。

③ビジネスプロデュースコンペティション

「ビジネスプロデュースコンペティション」

日 程：平成19年2月17日

※専門学校生から70プランの提出が

あったため、事前に書類選考を行い、10プランがプレ

ゼンテーション実施プランに選考された。

開 催 地：東京(東京工科専門学校)

対 象：専門学校生

時 間：1プラン質疑応答を含め20分程度、6時間(1日)

内 容：事業計画のプレゼンテーションを実施した。

④その他

「ビジネスプロデュースコンペティション」に応募した70プランのうち、一次審査で通過できなかった60プラン全てに対しても、審査結果だけでなく教育的見地から起業家や会社経営者である審査員の評価コメントをすることにより、コンペティションに勝ち残った10プラン以外の学生にも立案したビジネスプランを向上させることができた。